

平成28年度

## 単位施策評価表

所属 22500000

保健福祉部 健康増進課

施策	4302 市民の健康づくり支援							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	健康の保持・増進のための健康相談や健康教育の実施し、疾病予防や健康づくりを支援する。							
成果指標	健康教室等の年間延参加者数...8,000人（平成29年度目標値）（現状値7,249人）							
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	7,500.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	
		実績	9,696.00	12,172.00	10,548.00	9,196.00		
	成果指標2 [ ]	予定						
		実績						
	成果指標3 [ ]	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 [ ]	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	262,971	341,410	380,437	336,934		
実績		259,995	342,684	365,261	346,119			
内部評価	貢献度	様々な方法や内容、対象等を切り口にした健康づくり事業を実施することで、自分にあった健康づくりに取り組むことができるため、貢献度は高い。						
	達成状況	目標値を上回っているが、各地域で実施していた事業を統合したことにより参加者数は減少した。しかし自主グループづくりを行い仲間同士で健康づくりを行えるようにした。						
	課題	若い世代から健康づくりに取り組むことが必要であるが、青壮年期の参加者が少ない。						
	取組方針	関係団体・関係課と連携を図り、事業の周知や共催で事業を実施するなど、青壮年層等に取り組んでいく。						
外部評価	成果指数である健康教室等の年間延べ参加者数が目標値を上回っていることは評価できるが、健康づくりは各人により取り組む内容が異なることなどから、健康教室等への参加者数だけで評価するのは無理があるので、アンケートで取組み状況の把握をすべきと考える。また、健康づくりの一つとして、誰もが何処でも簡単に短時間でできる運動メニューを考案してはどうか。							
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	274201	市民健康まつり開催事業費				2,412	100	
	274202	ふれあい健康福祉まつり開催事業費（大平）				512	100	
	274206	ふれあい健康福祉まつり開催事業費（岩舟）				4,494	100	
	274301	健康増進計画推進事業費				21,260	100	
	274401	健康教育、相談事業費				25,978	100	
	724701	骨髄移植ドナー支援事業費				1,220	100	
	734801	医療用ウィッグ購入費補助金				3,372	100	
	275001	自殺予防事業費				10,129	91	
	270301	特定保健指導事業費				15,941	82	
216403	渡良瀬の里管理運営費				40,431	1		



平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	4302 市民の健康づくり支援		
区分	妥当性	妥当	健康増進法や高齢者医療の確保等で市が実施すべき事業であり、市民の健康増進を図るため妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の統合化を図ってきたが、一部統合化が図れていない事業があり、コスト削減の余地はある。
	受益者負担	適正	健康づくりは誰でも取り組めることが必要であり、受益者負担を求めることは好ましくないため適正である。
	上位貢献度	有効	健康相談や健康教育は、健康につながることから貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	総合的に健康づくりを推進している類似の事業はない。
	成果向上の余地	有	青壮年期が参加できるような内容や方法を検討することにより、参加者の増加を図ることができる。
内部評価	貢献度	様々な方法(イベント・集団・個別)や内容(運動・栄養・口腔・喫煙・心の健康)・対象(内臓脂肪予備軍・血圧・血糖等)等を切り口にした健康づくり事業を実施することで、自分にあった健康づくりに取り組むことができるため、貢献度は高い。	
	達成状況	目標値を上回っているが、各地域で実施していた事業を統合したことにより、参加者数は減少した。若い方や関心のない方が参加できるように、フェイスブック等を活用し周知したり、休日開催を実施したが、参加者増につながらなかった。しかし教室終了後自主グループづくりを行い、仲間同士で健康づくりが行えるようにした。また運動の推進として、市民代表からなる部会員の関係団体や市関係課と連携し、市庁舎等でラジオ体操が始まった。	
	課題	若い世代から健康づくりに取り組むことが必要であるが、青壮年期の参加者が少ない。子供と一緒に取り組める親子教室の開催の増加や、事業所・企業等への働きかけを行っていくことが必要である。増進計画の会議を通じて、生涯学習事業等関係課と連携を図っているが、事業の連携はまだ十分ではない。健康づくりを広げていくためには、教室やイベントだけでなく、個人で身近に行える健康づくりを情報提供していくことが必要である。	
	取組方針	健康増進計画部会議及び庁内ワーキング合同会議を通して、毎年重点テーマを絞り、産業保健センターや商工関係団体、庁内関係課と連携を図り、事業の周知や共催で事業を実施するなど、青壮年層等に取り組んでいく。また個人で健康づくりが行えるように、運動施設等の情報提供を行っていく。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	274301	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	健康増進計画推進事業費										主	4302	健康づくりの充実		市民の健康づくり支援	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 成人保健係					担当者	岸 範子		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市健康増進計画推進部会設置要綱					事業期間	H24 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	11,057		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市健康増進計画に基づき、市民や関係機関団体・行政が一体となり市民の総合的な健康づくりを推進する。平成26年度からの10か年計画とし、中間年には計画の中間評価をする。また、平成27年10月から歯科衛生士を非常勤職員として採用し、専門知識を活用した歯と口の健康づくりの推進を図る。平成29年度には健康寿命延伸都市を宣言し、健康寿命の延伸を目指し健康づくりを推進していく。 <b>【主要事業】</b>							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 市民や関係機関・団体等と連携し栃木市健康増進計画の重点領域毎の目標達成に向けて事業を実施する。							
	成果目標	健康教室等の年間延参加者数...8,000人(平成29年度目標値)(現状値7,249人)														
単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果 平成27年度 <b>【事業内容】</b> 健康増進計画推進部会・庁内実務者合同会議の開催 重点領域の取組みの実施 イメージキャラクターの活用 イベント等における普及啓発 デリバリー等による健康教育 <b>【成果】</b> 「栄養・食生活」・「歯と口の健康」を重点テーマに取り組んだ 歯科衛生士を活用し幼児健診時の指導を強化 計画概要版を部会員及び庁内実務者を通じて市民に配付し周知 平成28年度 <b>【事業内容】</b> 健康増進計画推進部会・庁内実務者合同会議の開催 重点領域の取組みの実施 歯科衛生士の活用 イベント等における普及啓発 デリバリー等による健康教育 <b>【成果】</b> 身体活動・運動、健康診査・検診の取組みを検討 部会員や庁内実務者と協力しラジオ体操を普及、市庁舎でのラジオ体操の実践、トレーニング施設を市民に周知 歯科衛生士を活用し幼児健診や各講座で口腔ケアの普及に取組んだ まつり等で概要版を配付し市民に周知 出前講座の実施											
	県支出金		0	0												
	地方債		0	0												
	その他特財		0	0												
	一般財源	1,419	2,510													
	事業費 a	1,419	2,510													
	人件費 b	18,750	18,750													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	20,169	21,260		指標名	算出方法	単位	事業の事後評価									
結果指標 1	6.00	5.00		会議回数	推進部会・庁内実務者会議等の開催回数 H28目標値 10回	回	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 2	29.00	47.00		活動回数	普及啓発活動の実施回数 H28目標値 25回	回	妥当	無	適正	有効	無	有				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・健康増進計画推進部会・庁内ワーキング合同会議を開催し、各関係機関・団体と情報の共有化を図り、今後さらに健康づくりの情報発信をすすめ事業の改善に努めていく。 ・健康都市宣言や記念講演会を滞りなく実行する。 ・平成30年度の中間評価に向けた準備を行う。															
事後評価備考																